

2017年 3月期 月次営業概況

■ グループ総取扱高 Total Group transactions

前年比 YOY (%)

	第1四半期 1st Quarter	9月	第2四半期 2nd Quarter	上半期 1st Half
		September		
グループ総取扱高 Total Group transactions	115.8%	112.0%	113.2%	114.5%
小売事業 Retailing	97.9%	94.6%	95.2%	96.5%
店舗・Web Store・Web	96.8%	94.7%	95.4%	96.1%
稼動面積あたり取扱高 Transactions per operating floor space	99.5%	96.5%	97.4%	98.6%
フィンテック事業 Fintech	118.9%	114.8%	116.5%	117.7%
ショッピングクレジット Card shopping	121.4%	117.2%	119.2%	120.3%
カードキャッシング Cash advance	97.7%	93.0%	92.5%	95.1%
サービス Service	122.2%	119.6%	119.9%	121.0%

■ 営業債権 Operating receivables

前年比 YOY (%)

リボ・分割払い残高 Revolving repayment, Payment by installments	122.6%	125.3%	—	125.3%
営業貸付金残高 Consumer loans outstanding	105.9%	105.6%	—	105.6%

※当社グループでは、今後の事業環境の変化に対応し、さらなる企業価値向上を推進するため、2020年度を最終年度とする新たな中期経営計画を策定いたしました。

これにともない、当期より従来の「小売・店舗事業」、「カード事業」、「小売関連サービス事業」の3つの事業区分を改め、未来志向で事業を再定義し、店舗・オムニチャネル・プラットフォームを中心とした「小売事業」とカード・サービス・ITを中心とした「フィンテック事業」の2つの事業に再編成しております。

※店舗・Web取扱高は、商品売上高にテナントの売上高等を加えた売上総額です。(従来の小売・店舗事業取扱高)

※小売事業では、2019年3月期までに従来の仕入契約による百貨店型ビジネスから、定期借家契約に基づくSC型店舗への転換を大きくすすめております。2017年3月期からは、さらにスピードを上げてSC・定借化に取り組む計画であるため、各店舗においては例年と比較し、改装等に伴う区画閉鎖が大きく発生しております。よって、従来の既存店の考え方に基づく開示では、SC・定借化の進捗状況を適切にお伝えすることが難しくなってきたため、今年度より「既存店」に替え、売場区画ごとのSC・定借化に向けた改装による閉鎖影響等を除いた「稼動面積あたり取扱高」の前年比を開示させていただきます。

※フィンテック事業における「サービス」は、家賃立替払い額、運転免許クレジット・保険等のご利用総額です。

アナリスト・投資家の皆さまのご意見を受けて、今年度より月次営業概況の内容を変更しております

■ 概況

9月期のグループ総取扱高は前年に対して12%増となりました。

小売事業の稼働面積あたり取扱高は、祝祭日が1日少ないことによる影響△2%に加えて月間を通じて気温の高い日が多かったことによる秋物商材の苦戦、台風などによる天候不順もあり、△3.5%となりました。

なお、小売事業(店舗・Web)の取扱高は、SC・定借化に向けた改装などにより売場面積が2%減少したこともあり、前年に対して5.3%の減少となりました。

稼働面積の増減内訳は、マルイ店舗の改装等で△9%、博多マルイ+4%、渋谷モディ+2%となっております。

フィンテック事業においては、ショッピングクレジットの取扱高が前年比17%増と引き続き好調に推移し、事業計で前年比15%増となりました。営業債権残高につきましては、ご利用方法の利便性向上によりリボ・分割払い残高は前年比25%増、営業貸付金残高は前年比6%増となっております。

■ 質疑応答

Q.天候不順の影響を受けた店舗に対し、Web通販の状況はどうか？

Web通販は「ラクチンきれいパンプス体験ストア」を商圈外の商業施設を中心に積極展開する等、PBのレディスシューズを核とした、売上の約6割を占める雑貨が好調です。加えて「マルコとマルオの7日間」や、ウェブチャンネル10周年を記念したお客様感謝施策によって、レディスアパレルの売上も2桁増で推移する等、全体では前年に対し12%増となりました。

Q.主な改装店舗は？

A.今秋のリニューアルオープンに向け、全館改装を行っている柏モディ(10/27オープン)と静岡2館に加え、既存の各店舗につきましても、SC・定借化に向けた区画ごとの改装を進めております。中でも、9月期は北千住マルイや上野マルイで閉鎖区画が店舗全体の10%以上となりました。

Q. ショッピングクレジットの基調が下がっているように見えるのはなぜか？

A. 8月期に引き続き、前年に対して祝祭日が1日少ないことによるものです。

■ マルイグループからのお知らせ

- 厚生労働省主催の「イクメン企業アワード2016」において、初めて「グランプリ」を受賞いたしました。今後も、従業員一人ひとりがイキイキと活躍し、能力を高められる人材育成や働く環境づくりをすすめてまいります。

http://www.0101maruigroup.co.jp/pdf/settlement/16_0930/16_0930_1.pdf

- 証券アナリストによる「ディスクロージャー優良企業選定」(平成28年度)において、初めて小売業部門の「第1位」に選出されました。今後も、投資家の皆さまとの対話を通じて、中長期的な企業価値の向上に取り組んでまいります。

http://www.0101maruigroup.co.jp/pdf/settlement/16_1007/16_1007_1.pdf

■ 2017年3月期「グループ総取扱高」前年比推移

前年比(%)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
グループ総取扱高	114.8	115.4	117.2	116.4	111.2	112.0							114.5
小売事業	91.6	101.5	100.4	97.7	92.7	94.6							96.5
店舗・Web	91.9	98.9	99.7	98.2	92.8	94.7							96.1
稼働面積あたり取扱高	98.4	99.5	100.6	99.8	95.1	96.5							98.6
フィンテック事業	118.7	117.8	120.2	120.3	114.4	114.8							117.7
ショッピングクレジット	121.2	120.1	123.0	123.8	116.7	117.2							120.3
カードキャッシング	97.1	97.8	98.2	91.9	92.3	93.0							95.1
サービス	122.7	122.3	121.7	120.3	119.9	119.6							121.0

■ 2016年3月期「グループ総取扱高」前年比推移

前年比(%)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
グループ総取扱高	120.5	117.3	111.0	116.3	116.7	114.3	118.3	113.3	116.3	114.6	119.6	114.4	115.9
小売・店舗事業	103.9	100.9	88.6	101.1	99.8	96.4	98.7	93.8	94.0	96.1	97.1	93.6	96.8
既存店	105.3	102.7	91.8	103.0	101.7	97.4	103.5	94.4	94.1	96.1	97.1	93.2	98.0
カード事業	122.5	119.8	114.3	118.9	119.2	117.1	121.4	115.9	120.1	117.4	122.4	116.4	118.7
ショッピングクレジット	123.4	120.6	113.5	118.7	119.9	117.8	123.0	115.9	120.9	117.7	124.3	117.8	119.4
カードキャッシング	105.6	103.8	104.4	107.5	104.7	102.4	103.0	104.0	104.1	105.0	105.2	98.8	103.9
その他	137.5	135.1	133.5	133.4	132.1	130.4	131.0	129.2	127.6	126.8	126.1	124.4	130.2
小売関連サービス事業	144.9	101.7	88.9	110.3	102.4	89.3	112.2	105.1	116.8	117.1	127.1	119.8	110.2